

3月議会 予算集中審査



予算決算常任委員会

3月12日から19日まで全議員による予算決算常任委員会（委員長 山岡光広議員）が開催され、平成31年度一般会計予算案について集中審査が行われました。日本共産党議員団は、小西・岡田両議員が、新年度予算案が市民のいのちと暮らしを守る予算になっているか、市民の切実な願いが盛り込まれているか、無駄な予算はないかなどの視点から積極的に発言しました。最終日の19日には、小西喜代次議員が反対討論を行いました。凜風会の橋本恒典議員、志誠会の山中修平議員が賛成討論を行い、賛成多数で可決すべきものと決しました。最終日25日の本会議で全議員による採決が行われます。

くらし・福祉優先の予算を！

新年度予算案は、総額432億8千万円（前年度比60億5千万円増）の過去最大規模の予算で、最大の特徴は、現行の新市建設計画に基づき、合併特例債を活用した事業の増加です。

5日間の予算決算常任委員会では、総合計画に基づく153の事業を中心に、予算について審査が行われました。特に、合併特例債事業の集中や、あいコムこうかへの1億3640万円の補助金について、これまでの経緯も含め問題点が指摘されました。子育て・教育では、幼保無償化

について初年度は全額国費との説明がありました。国に対し、恒久的な全額支給を求めることが必要です。

今回の予算案では、コミバスの無料乗車券拡充など市民の願いが一定反映されているも、中学卒業までの医療費無料化や学校給食費無料化などの願いは反映していません。また、多額の補助金支出の一方で、市民生活への予算が削られています。市民のくらし・福祉優先の予算が求められます。

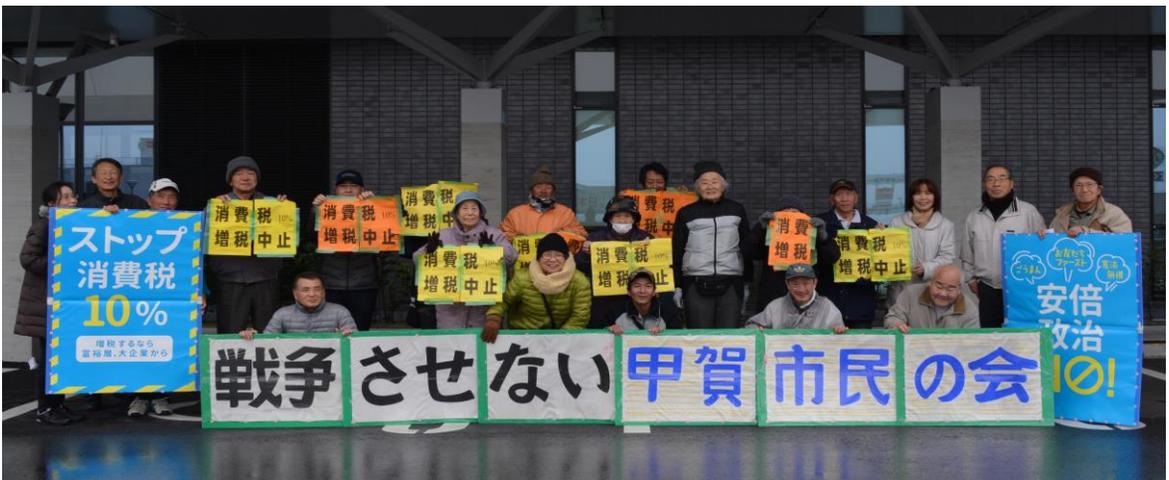
小西議員の反対討論骨子

特に予算規模を過去最大にしている主な要因は、合併特例債事業の集中であり、このことが財政を圧迫し生活関連予算にしわ寄せをしている。

特徴として税金の使い方の問題がある。あいコムこうかへの補助金や県立信楽窯業技術試験場移転先の土地取得により、市民生活に関わる予算が削られている。例えば80歳以上の敬老祝金や小学1年生に支給されていた黄色い傘約40万円もカットされた。税金の使い方が間違っている。またアウトソーシングの拡大も特徴とされる。公務労働、行政サービスのあり方を見直すべき。

市民の声を聞く、また庁内の十分な議論をつくした予算とはいいがたい。以上の点を指摘し反対。

消費税10%増税ストップ！ 市内を自動車パレード



3月17日、戦争させない甲賀市民の会は、市内を4コースに分かれて、自動車パレード宣伝を行いました。あいにく小雨となりましたが、「消費税増税の根拠は総崩れ」「消費税増税はまだ決まっています」「10%増税反対の声をみんなであげましょう」と元気にアピール。小西議員・岡田議員も参加し、「増税ストップ、くらしを守ろう！」と訴えました。

日本共産党 甲賀市議員団ニュース 2019年 3月 24日 第258号	 山岡 光広 甲南町森尻 16 TEL 86-2985 Fax 86-0415	 小西喜代次 信楽町勅旨 456 TEL 83-0765 Fax 83-0765	 岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 TEL 66-0696 Fax 66-0696
---	--	---	---